

問題作成の基本的な考え方

各設問の正答率や誤答の状況から課題の有無を把握し、学習指導の改善・充実を図ることができるよう、特に、次の点に配慮して作成。

- ① 学習指導要領の理念・目標・内容等に基づくものとし、小学校の調査問題については小学校第5学年までに、中学校の調査問題については中学校第2学年までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられるものを、各領域等からバランスよく出題すること。
- ② 主として「知識」に関する問題（A）と主として「活用」に関する問題（B）を作成すること。（理科については、両者を一体的に問う）
- ③ 教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等につながるよう、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題を出題すること。
- ④ 児童生徒が時間的余裕を持って解答に取り組むことができるよう、問題の分量が、調査時間（解答時間）に照らして適切なものとなるよう努めること。
- ⑤ 「4年間のまとめ」(※)で指摘した課題等、これまでの調査で見られた課題を踏まえた問題も出題すること。
(国語、算数・数学：145問中50問(約34%) 理科：49問中7問(約14%))
※ 国立教育政策研究所において、平成19～22年度の4回の調査結果を分析して、成果と課題を整理した報告書（概要は、P2を参照）
- ⑥ 理科については、全ての大問で観察・実験に関する場面を設定するとともに、児童生徒が、理科の授業で学習したことが社会や日常生活で役立つことを感じることができるよう、題材等を工夫すること。

全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～（概要）

○ 国立教育政策研究所において、平成19～22年度の4回の調査結果を分析して、「成果」と「課題」を整理した報告書

「成果」として認められる内容（一例）

小学校国語	比較的自由度の高い条件で記述すること
小学校算数	示された図形の面積を求めること
中学校国語	話の内容から必要な情報を的確に聞き取り、適切な質問をすること
中学校数学	図形領域で、作図の手順の理解、基本的な平面図形の性質の理解、証明の中で根拠として用いられる平行線の性質の理解、2つの三角形が合同であることを判断する際に必要な辺や角の相等関係を指摘すること

「課題」として考えられる内容

小学校国語

<「話すこと・聞くこと」における課題>

- ① 司会の役割を果たしたり、立場や根拠を明確にしたりして話し合うこと

<「書くこと」における課題>

- ② 調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書くこと

<「読むこと」における課題>

- ③ 物語に登場する人物についての描写や心情、人物相互の関係を捉えること
- ④ 目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらを関係付けて読むこと

<「言語事項」(*)における課題>

- ⑤ 複数の内容を含む文を分析的・統合的に理解すること

中学校国語

<「話すこと・聞くこと」における課題>

- ① 資料の提示の仕方を工夫し、その方法を説明すること

<「書くこと」における課題>

- ② 文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くこと

<「読むこと」における課題>

- ③ 目的をもち、表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと

<「言語事項」(*)における課題>

- ④ 辞書に書かれている記述から、語句の意味を適切に捉えること

小学校算数

<「数と計算」における課題>

- ① 乗法や除法の意味を理解すること

<「量と測定」における課題>

- ② 求積に必要な情報(図形の長さ及び図形の性質)を取り出して面積を求めること

<「図形」における課題>

- ③ 図形の性質を基に事象を判断すること

<「数量関係」における課題>

- ④ 計算の順序についてのきまりなどを理解すること
- ⑤ 割合の意味を理解すること

中学校数学

<「数と式」における課題>

- ① 方程式における移項の意味を理解すること。方程式をつくって問題を解決するために数量の関係を捉えて2通りに表せる数量に着目すること

<「図形」における課題>

- ② 証明の必要性和意味を理解すること。円柱と円錐の体積の関係を理解すること

<「数量関係」における課題>

- ③ 2つの数量の関係が比例・反比例・一次関数の関係になることを理解すること。二元一次方程式の解を座標とする点の集合は直線として表されることを理解すること

<記述式問題における課題>

- ④ 予想した事柄を数学的な表現を用いて説明すること(事実・事柄の説明)
問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明すること(方法の説明)
事柄が成り立つ理由を説明すること(理由の説明)

<数学的に表現したり、数学的に表現されたものの意味を読み取ったりすることにおける課題>

- ⑤ 関係や法則などを式に表現したり、式の意味を読み取ったりすること

*学習指導要領(平成20年告示)では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

特徴的な問題例（小学校国語A）

A 5 新聞のコラムを読む

5

次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】（筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事）です。この【コラム】は、全体の内容が1から5までのまとまりに分かれています。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

【コラム】

記事の中の▼は、まとまりを表す印です。

1 ▼四月二十三日
は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、『セロ弾きのゴーシュ』を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事な描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

※1 「描写」…かき表すこと
※2 「童心」…子供の心。

一 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまとまりを、【コラム】の中の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点（。）や読点（、）、かぎ（「」「」）は字数にふくみません。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

出題の趣旨

- 新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることができるかどうかをみる
- 設問二は、平成25年度調査の課題（目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書くこと）や、平成26年度調査の課題（相手の発言を引用して質問や意見を述べること）を踏まえたもの
- なお、新聞のコラムを取り上げたのは初めて

問題の概要

- 一 コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択する
- 二 コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く

正答

- 一 2・4
- 二 読書という

特徴的な問題例（小学校国語B）

B 3 相手や目的に応じて読み聞かせをする <とんち話「びょうぶのとらのお話」>

3

六年生の山田さんの学級では、「一休さんいっしやうさんとんち話」という本を読んで、紙しばいを作り、一年生に読み聞かせをしました。そこで、山田さんのグループでは、その本の中から次の【びょうぶびやうぶのとらのお話】を選び、場面の様子を【四枚の絵】に分けてかきました。あとの問いに答えましょう。

【四枚の絵】

【びょうぶのとらのお話】

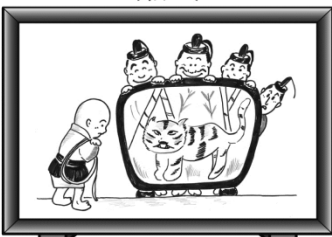
の中の1から5までは、まとまりを表しています。

〈絵1〉



一休さんと、このさまの話です。
このさまは、とんちで有名な一休さんを少し困らせてみようと思い、一休さんをおやしきに呼びました。そして、
「これこれ一休。たのみたいことがあるが、聞いてはくれぬか。」
「はい、なんでしょう。」
このさまは、おそろしいとらの絵がかいてある、びょうぶを指さして、
「実は、このとらじゃ。毎晩飛び出しては、やしきの中を暴れ回るのだ。
一休、このとらを暴れぬように、しばりあげてはくれぬか。」
と言いました。

〈絵2〉



1 一休さんは、それを聞く。
「かしこまりました。」
と言って、さっと立ち上がりました。そして、
「では、とらをししばりあげるためのなわを貸してください。」
と言いました。このさまは、家来に言いつけてなわを持って来させました。一休さんは、なわを受け取り、広間のすみに下がりました。
「では、これから、とらをししばりあげます。このさまや、家来の方々は、びょうぶの裏に回ってください。とらが飛びかかるといけませんから……。」
このさまと家来は、言われるとおりにしました。一休さんが、何を始めるのかと思いましたが、とりあえずびょうぶの裏に行きました。そして、にやにや笑いながら、様子を見ていました。

〈絵3〉



2 一休さんは、はちまきをしめ、たすきをかけて身じたくを整え、いよなわを手を持ち、びょうぶの前に進み出ました。それから、足をふんばり、びょうぶの前で構えて言いました。
「やい、とらめ。このさまの言いつけでお前をししばりあげるぞ。さあ、出て来い。勝負だ。」
一休さんは、大まじめです。とらは、もちろん出て来ません。
「さては、おそれをなしたか。とらめ、出て来ないな。」
そう言ってから、
「びょうぶの裏の家来の方々、そこで大声をあげて、とらを追いついてください。出て来ないと思いませんか。」
それを聞いた家来たちは困りました。このさまはおこり顔で、
5 「何を言うか、一休。絵のとらが、追い出せると思うか。」
と言いました。

〈絵4〉



「ううむ。」
このさまは、うなづいて何も言えなくなっていました。
一休さんは、続けて、
「それとも、晩にならないと、出て来ないのでしょうか。でしたら、今夜、もう一度やり直しましょうか。」
それを聞いて、このさまは、
*「もうよい。わしの負けじゃ。」
と言いましたとさ。

※1「とんち」……その場ですぐに出るちえのこと。
※2「びょうぶ」……部屋の中に立てて、かざりや仕切りなどにするもの。

一 山田さんのグループの三人は、だが、どの場面を読むのかについて話し合っています。次の【話し合いの様子①】をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【話し合いの様子①】

山田 【びょうぶのとらのお話】の内容と【四枚の絵】とを関係付けながら考えよう。
 ～(絵1)～についての話し合い(省略)～

小川 【びょうぶのとらのお話】の中の[]の部分、(絵2)と(絵3)に分けて
 聞いたよね。(絵3)の始まりをどこにしたのか確認してみよう。

高木 (絵2)は「一休さんととのさま、家来とがやりとりをしている場面」、(絵3)は
 「とらを追いつき出そうと動き始めた場面」にしたよね。
 ～(話し合いが続く)～

(問い)

(絵3)の場面は、【びょうぶのとらのお話】の[]の中の1から5までのどこから始まりますか。最も適切なもの一つを選んで、その番号を書きましょう。

二 山田さんたちは、【びょうぶのとらのお話】のおもしろさについて、一年生にどのように伝えたいか話し合っています。次の【話し合いの様子②】をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【話し合いの様子②】

山田 一休さんが家来たちに、「とらを追いついてください。出て来ないと思われませんかからね。」と言ったところがおもしろいよね。

小川 私もそう思うわ。とのさまが言った無理なことに対して、一休さんがちえを働かせているところよね。とのさまはおこって言い返したけれど、一休さんに「それはおかしい。」と言われて、「ううむ。」とうなってしまったね。

高木 最後に、とのさまは、「もうよい。わしの負けじゃ。」と言ったけれど、どんな気持ちだったのかな。どんなふうにして読むといいかな。いろいろな読み方を考えてみよう。
 ～(話し合いが続く)～

(問い) 【もうよい。わしの負けじゃ。】を、あなたならどのように声に出して読みますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 声を出して読むときにくふうすることを書くこと。くふうすることとしては、例えば、声の大きさや高さ、読む速さなどがある。
- なぜそのように読むのかという理由を書くこと。理由には、あなたが想像したとのさまの気持ちを取り上げる。
- 四十文字以上、八十文字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

80字

40字

出題の趣旨

- 場面の移り変わりに注意し、登場人物の行動や気持ちの変化について想像しながら音読することができるかどうかをみる

問題の概要

- 一 <絵3>の場面が始まるままとまりとして適切なものを選択する
- 二 声に出して読むときの工夫とその理由を書く

正答

一 3

二 (例)

わたしは、小さい声で読みます。とのさまは一休さんをこまらせようと考えていたのに、逆に一休さんにやりこめられてしまい、落ちこんで元気をなくしたと思うからです。

特徴的な問題例（小学校算数A）

A 1 計算の能力（計算の仕方と結果についての判断）

1

次の問題に答えましょう。

- (1) $8.9 - 0.78$ のおよその答えとしてふさわしいものを、下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.1
- 2 1
- 3 0.8
- 4 8

- (2) $5.21 + 0.7$ を、 0.01 をもとにした式に表します。
 5.21 と 0.7 は、それぞれ 0.01 を何個集めた数になりますか。
 下の ㉞, ㉟ に入る数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 5.21 + 0.7 \\ \downarrow \quad \downarrow \\ \boxed{\text{㉞}} + \boxed{\text{㉟}} \end{array}$$

- (3) $6.3 + 0.22$ の答えを 6.52 と求めました。
 この答えが正しいかどうかを、次のように確かめます。
 下の ㉡, ㉢, ㉣ に入る数を書きましょう。

$\boxed{\text{㉡}} - \boxed{\text{㉢}}$ を計算して、 $\boxed{\text{㉣}}$ になるかどうかを確かめます。

A 2 (2) 四則計算

2

次の計算をしましょう。

- (2) $6.79 - 0.8$

出題の趣旨

- 平成24年度調査の課題（小数点をそろえて位ごとに計算すること）を踏まえ、小数の計算の能力を身に付けているかどうかをみる

- 1 (1) 大きな誤りを防ぐために、計算の結果の見積りをする事
 (2) 数の相対的な見方に基づいて、小数の計算を整数の計算で捉えること
 (3) 計算の結果を確かめるために、加法と減法の相互関係を理解していること

- 2 (2) 末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすること

問題の概要

- 1 (1) $8.9 - 0.78$ の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ
 (2) $5.21 + 0.7$ は 0.01 が何個集まった数かを表すための式として、ふさわしい数値の組合せを書く
 (3) 小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組合せを書く

- 2 (2) $6.79 - 0.8$ を計算する

正答

- 1 (1) 4
 (2) ㉞ 521
 ㉟ 70
 (3) ㉡ 6.52 6.52
 ㉢ 0.22 又は 6.3
 ㉣ 6.3 0.22
- 2 (2) 5.99

特徴的な問題例（小学校算数B）

B ② (3) 場面の読み取りと処理・判断（おつかい）

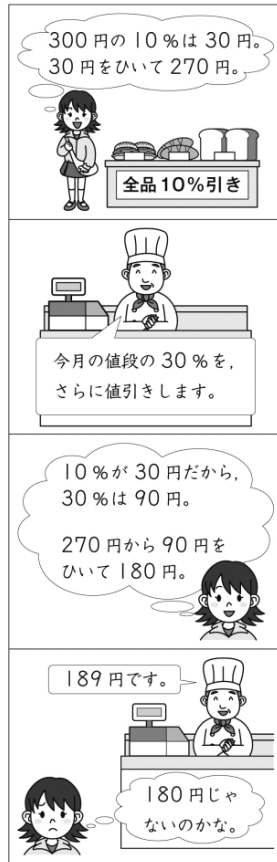
(3) 最後に、パン屋で300円の食パンを買います。

今月、パン屋では、全品10%引きセールをしています。だから、300円の食パンの今月の値段は、270円になります。

店員さんが、「今日は特別に、今月の値段の30%を、さらに値引きします。」と言いました。

たか子さんはそれを聞いて、300円の食パンの値段は180円になるのではないかと思いました。

しかし、実際の値段は、180円ではなく189円でした。



たか子さんは、おつかいから帰って、値段の求め方を考えました。

たか子さんの考え

① 今月の値段（10%引きした後の値段）の求め方と答え

求め方 $300 \times 0.1 = 30$
 $300 - 30 = 270$

答え 270円

② 今月の値段の30%を、さらに値引きした値段の求め方と答え

求め方 $300 \times 0.3 = 90$
 $270 - 90 = 180$

答え 180円

たか子さんは、上の②の300がまちがっていることに気付きました。
 ~~~~~部の正しい数は、いくつになりますか。また、その数を使うと、  
 ②の  の部分はどのようにになりますか。  
 ~~~~~部の正しい数を書きましょう。また、その数を使った②の求め方と  
 答えを、言葉や数を使って書き直しましょう。

出題の趣旨

- 「4年間のまとめ」の課題(割合の意味を理解すること)を踏まえ、示された割引後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる

問題の概要

示された割引後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く

正答

<正しい数> 270
 <求め方> (例)
 $270 \times 0.3 = 81$
 $270 - 81 = 189$
 <答え> 189 (円)

特徴的な問題例（小学校理科）

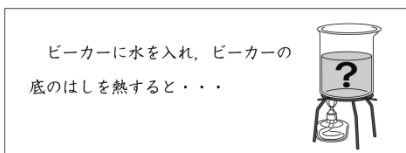
3 (2)(3) 水の温まり方

(2) ふっとうしているお湯に紅茶の葉を入れると、ポットの中で紅茶の葉が動いていました。



紅茶の葉が動くのは、あたためられたお湯が動いているからかな。
ゆかりさん

そこで、ゆかりさんたちは、紅茶の葉が動いているようすから、「水はどのようにあたためていくのだろうか」という問題を立てて、予想したことを図に表しました。



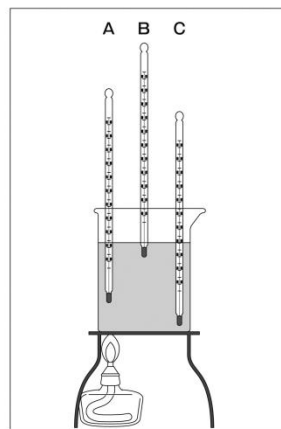
あたためられた水が、上の方に動いて、上から順にあたたまると思うよ。
ゆかりさん

熱せられたところから順に熱が伝わって、水があたまると思うよ。
としおさん

あたためられた水が、横の方に動いてから上の方に動き、上から順にあたまると思うよ。
りか子さん

あたためられた水が、横の方に動いて、下から順にあたまると思うよ。
あきらさん

ゆかりさんたちは、自分たちの予想が正しいかどうかを調べるために、A、B、Cの3本の温度計を、下の図のようにビーカーに入れて実験することにしました。



りか子さん
3本の温度計の温度が高くなる順番で確かめることができそうだよ。

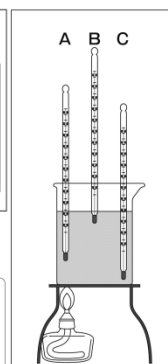
りかさんの予想が正しければ、どの温度計から順に温度が高くなっていきますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 B→A→C
- 2 B→C→A
- 3 C→A→B
- 4 C→B→A

(3) 実験した結果は、下の表のようになりました。

<水の温度の上がり方>

| | 0分 | 2分後 | 4分後 | 6分後 | 8分後 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 温度計A | 25℃ | 37℃ | 45℃ | 52℃ | 58℃ |
| 温度計B | 25℃ | 34℃ | 41℃ | 48℃ | 54℃ |
| 温度計C | 25℃ | 30℃ | 38℃ | 45℃ | 53℃ |



実験結果から、あたためられた水の動き方は、ぼくの予想とちがっていたな。
この結果から考え直すと（イ）になるな。
あきらさん

あきらさんのことばの（イ）の中にあてはまるものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 ゆかりさんの予想と同じ考え
- 2 としおさんの予想と同じ考え
- 3 りかさんの予想と同じ考え
- 4 3人の予想とはちがう考え

出題の趣旨

- 予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構築できたり、水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善できたりするかどうかをみる
- (3)は、平成24年度調査の課題(実験結果を基に自分の考えを改善して、その理由を記述すること)を踏まえたもの

問題の概要

- (2) 水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ
- (3) 水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ

正答

- (2) 4
- (3) 1

特徴的な問題例（小学校理科）

4 (5)(6) 蒸発

(5) 次の日、ゆりえさんは、家の人が家の前で水をまいているのを見かけました。



これは「打ち水」というんだよ。地面にまいた水が水蒸気になって空気中に出ていくと気温が下がるんだよ。昔から暑い日をすずしく過ごすために行われているんだよ。

家の人が言った「水が水蒸気になって空気中に出ていく」ことを何といいますか。そのことばを書きましょう。

(6) ゆりえさんは、「地面に水をまくと気温が下がるかどうか」について調べるために、次のような実験をしました。

実験方法

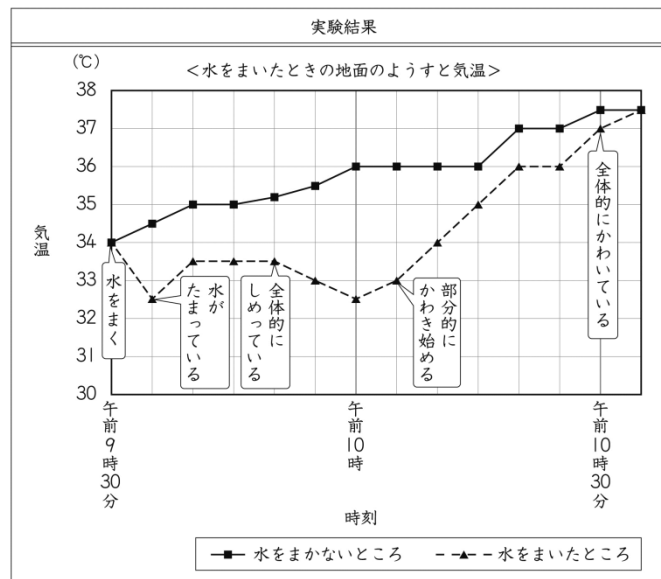
1 日なたに水をまく。 2 水をまいたところとまかないところの地面のようすと気温を調べ、比べる。

水をまく

水をまいたところ

水をまかないところ

地面のようすと気温を調べる



ゆりえさんの実験の結果から、どのようなことがいえますか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 水をまくと、気温は下がり続ける。
- 2 水をまくと、水をまかないときに比べて気温が高い。
- 3 水をまくと、水をまかないときに比べて地面がかわくまで気温が低い。
- 4 水をまいても、水をまかないときと気温は同じである。

出題の趣旨

- (5)は、水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解しているかどうかをみる
- (6)は、打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析できるかどうかをみる

問題の概要

- (5) 水が水蒸気になる現象について、その名称を書く
- (6) 地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ

正答

- (5) じょう発
- (6) 3

特徴的な問題例（中学校国語A）

A 8 インタビューをする

8 林さんは、「総合的な学習の時間」に「すし」について調べ、まとめることにしました。次は、林さんが「事前に準備した質問」とすし屋の店主である山本さんにインタビューをした際の「記録の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【事前に準備した質問】

- ・ おすしの魅力は、どのようなところですか。
- ・ 酢飯を作るときに気を付けていることは何ですか。
- ・ すしに、寿司、鮎あじなどいろいろな漢字があるのはなぜですか。



【記録の一部】

林 おすしの魅力は、どのようなところだとお考えですか。

山本 すしの魅力は、季節を感じられるということですね。

林 季節を感じられるということですが、おすしの何で季節を感じることができるのですか。

山本 例えば、旬しゅんの食材です。私はいつも市場の人から情報を聞いて、旬の魚をできるだけ安く仕入れるようになっています。

林 苦労して旬の食材を仕入れているのですか。ところで、酢飯を作るときに気を付けていることは何ですか。

山本 お米は時期によって状態が違いますので、それに合わせて水や酢の量を調節することですね。

林

一 ――線部「季節を感じられるということですが、おすしの何で季節を感じることができるのですか。」とありますが、林さんはどのような意図でこの質問をしたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 相手の発言を確かめて、事前に準備していた別の話題に移ろうとした。
- 2 相手の発言の問題点を指摘し、理解をより確かなものにしよとした。
- 3 相手の発言の内容をまとめて、他のものとの相違点を捉えようとした。
- 4 相手の発言を受けて、そこからさらに具体的な話を聞き出そうとした。

二 □の部分で、林さんは、――線部と同じ意図で質問をしました。その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 酢飯を作るのは大変なのでですね。例えば、水の量を増やすのはどのような時期ですか。
- 2 水や酢の量を調節しているのですか。ところで、すしにいろいろな漢字があるのはなぜですか。
- 3 いつも市場で仕入れをしているのですか。市場が休みなどの仕入れはどうしているのですか。
- 4 旬の食材の仕入れは大変ですね。魚以外の食材はどのように仕入れているのですか。

出題の趣旨

- 必要に応じて質問しながら聞き取ることができかどうかをみる
- 設問一は、平成24年度調査(小学校)の課題(狙いを明確にして質問をすること)を踏まえたもの

問題の概要

- 一 インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択する
- 二 意図に合った質問として適切なものを選択する

正答

- 一 4
- 二 1